

提 案 の 概 要

施設名:名古屋市立第二斎場

団体名:太陽近鉄グループ

太陽築炉工業株式会社

太陽アーモ株式会社

近鉄ファシリティーズ株式会社

(1)管理運営全般について

①施設の管理運営に対する理念、基本方針等

太陽築炉工業(株)と太陽アーモ(株)が運営に参加し、近鉄ファシリティーズ(株)が維持管理を担当します。名古屋市立第二斎場開場以来の経験を活かし、確実な運営業務を行い、利用者の信頼を得ることを目指します。

施設の性格、機能、役割を理解し、設置主旨を念頭に運営します。太陽・近鉄グループと連携し、施設維持管理を確保します。地域との連携を重視し、安心・安全なサービスを提供します。

施設の整備から周辺環境への配慮まで、公平さと地域への配慮を大切にします。太陽・近鉄グループの連携体制を生かし、社会情勢に柔軟に対応する運営を行います。常に「地域に溶け込み、安心・安全・安定したサービス」を提供し、利用者の満足を追求します。

②管理運営体制(職員配置及び人材の確保・育成計画等)

責任感があり、名古屋市立第二斎場で業務の経験豊富な職員が中心となり運営を行います。八事斎場再整備期間の火葬件数増加に備え、定年退職者の再雇用や母子寡婦福祉連合会などの組織に登録し、幅広く人員を募集します。ハラスメント対策などにも力を注ぎ、離職防止対策を実施します。

また、職員の育成にも力を入れ、勉強会の実施や講習会への積極的な参加を通じて、斎場業務のスキルだけではなく、社会人として幅広い知識を身に付ける取り組みを行います。

(2)事業運営の実施計画について

①サービスの向上に関する計画

アンケート調査とフィードバックの収集を通じて、葬儀会社を含む全ての施設利用者のニーズを正確に把握し、運営方法の改善に取り組み、サービスの向上に努めます。収集した意見はデータベース化され、他の斎場の事例に基づくデータベースと統合され、業務改善のための予防的な対処を行います。同様の意見や要望がある場合にも一貫性のある対応を迅速に行い、市民サービス向上をより効率的に実現します。ご意見により改善した内容は運営に取り入れられ、マニュアル化されて職員が共有します。更に外部監査を行い、サービスの内容が適正に活かされているかを確認します。

②施設管理の実施計画

安心・安全・快適性を維持するために、常駐の維持管理責任者と各業務毎の責任者が連携し、施設の環境を保つための「作業計画書」に基づいて行動します。

また、職員全員で毎日の朝礼・終礼を行い、運営業務と維持管理業務の相互連携を強化しています。予防保全を重視して修繕費を指定管理料内で対応し、設備機器の保守点検を更に強化します。長期修繕計画に基づいて機器のライフサイクルコストを考慮し、運営停止が絶対にできない斎場運営を認識し、突発的なトラブルが発生しないよう細心の注意を払います。

八事斎場の再整備期間中は、休場日がないため、開場時間外の保守点検や棟ごとの対応を考慮し、計画的な維持管理を実施します。

地震・津波、感染症、風水害、事故などの危機事象に備え、それぞれに対応策を定めています。特殊消火設備や非常用発電機、感染症対策など、斎場特有の要素を考慮した BCP を整備しています。また、災害管理に関する教育訓練を徹底し、利用者と職員の安全、二次災害の防止に取り組んでいます。

③公害防止保証値の遵守計画

第二斎場の運営に携わる全職員は、地域住民の気持ちを理解し、公害防止の重要性を認識しています。日常点検や修繕を確実に実施し、火葬炉設備の性能を最大限に発揮して公害防止に取り組んでいます。運営職員と技術職員が連携をとり、燃焼知識や運転技術を向上させるとともに、公害発生の原因となる副葬品の適切な扱いを市民や葬儀会社に周知し、公害保証値を厳守しています。

④施設の平等利用に関する計画

幅広いニーズに対応し平等な利用を確保することを目指します。火葬の予約においては不正操作を防ぐために監視し、個人予約も公平に処理します。宗教的中立を保ち、アクセシビリティを重視し、外国人利用者にも多言語案内を提供しています。子供や障がい者の拾骨時にはお手伝いする配慮をします。

心付けや金品の受領は一切禁止しており厳格に対応し、一部のご利用者へ優遇するようなことはありません。

(3)収支計画について

①管理運営にかかる費用等

運営業務と維持管理業務を連携させ、効率的な維持管理運営を行い、コスト削減を実現します。所長を頂点とする指揮命令系統と、無線通信機器を使用して全職員の情報共有を促進し、臨機応変で効率的な対応を最小人数で提供します。日常清掃や点検を確実に実施し、火葬炉や空調などの設備機器の状態を常に把握し、予防保全に努めます。潜在的な問題を早期に発見し、予防的なメンテナンスを行うことで、故障や機器の劣化を防ぎ長期的なコスト削減を実現します。